大崎第一地域ニュース
はなぐるま
第152号
2021.4.20発行
WEBにも掲載しています。

編集　はなぐるま編集委員会
〒141-0031 品川区西五反田3-6-3
TEL:3491-2000
saki1c@city.shinagawa.tokyo.jp
発行元　大崎第一地域センター

かるたに見るわが街、しながわ②

～しながわ歌留多～

え 江戸越えて　銀座を受け継ぐ　商店街

コメント：有名な「戸越銀座」商店街は五反田から約１㎞ほど南にある全長約1.3㎞の商店街で、商店数は約４００軒にのぼり、全国に３００以上あるといわれている「〇〇銀座」の第一号でもあります。

「銀座」の名前の由来は、大正12年の関東大震災で被災した日本最大の商店街の銀座から、瓦礫となったレンガを貰い受けて、低地でぬかるみやすかった戸越商店街の復旧を行った縁と、併せて銀座の賑わいにもあやかりたいという気持ちをこめて命名されました。なお、「戸越」の地名には、かねて「江戸越えの村」と呼ばれ、やがて「戸越」になったという説があり、それを物語るような「江戸を越えて清水の上の成就庵　ねがひの糸のとけぬ日はなし」という古い歌碑が戸越の鎮守「戸越八幡神社」にあります。

（編集長　久保田）

戸越銀座商店街

戸越という地名は、「江戸を越えた土地」に由来すると言われています。全長約1.3㎞の長さを誇る商店街は〇〇銀座と呼ばれる商店街第一号と言われ、イベントでは「戸越銀次郎」というマスコットキャラクターが子供たちの人気を集めています。

～しながわ歌留多～

き きゅりあんで　思い出残る　成人式

コメント：大井町駅前にある「きゅりあん」は品川区立総合区民会館の愛称です。ラテン語の「集会所」を意味する「キュリア（curia）」が語源の造語で、「人が集まり、ふれあうように」との願いを込めてつけられました。大小のホールからイベントスペース、会議室や調理講習室などがある複合施設です。

「きゅりあん」では毎年、新成人の実行委員が企画・運営を行い、成人式が行われます。今年の式は新型コロナウイルス感染症の影響で、オンライン配信となりましたが、区は状況を見ながら今年度の新成人が集まれる機会を設ける予定とのことです。成人式、そして様々なイベントや公演、講座の開催が再開され、そこに集まる人、心がふれあうことができる日々が来ることを祈るばかりです。

（編集委員　清水）

きゅりあん

きゅりあんは、品川区立総合区民会館の愛称で、ラテン語の「集会所」を意味する「キュリア」が語源の造語。「人が集まり、ふれあうように」との願いを込めてつけられました。きゅりあんでは毎年新成人の実行委員により成人式の企画・運営を行っています。

～しながわ歌留多～

く 黒船の　来航示す　台場跡

～品川ふる里かるた～

に 日本の　夜明けを告げし　台場あと

コメント：１８５３年（嘉永６年）７月、米人ペリーが日本の開国を促すため艦船４隻を率いて浦賀沖に来航しました。このときの艦船の船体が黒く塗られていたことから、わが国では「黒船」と呼ばれています。

来航に脅威を感じた日本は、国防のため品川沖近辺に7か所（6か所との説もあります）の台場（砲台などを備えた場所のこと）を造りました。しかし、実戦に使われることなく埋め立てや撤去などにより大半は消滅し、現存するのは第三台場と第六台場の2か所だけとなりましたが、この存在が黒船来航の確たる証拠ともなっています。第三台場は陸続きで現在は公園となっていますが、第六台場は無人島となっており学術的にも貴重な存在なので立ち入り禁止です。この2つの台場は国の史跡に指定されています。

（編集委員　中村）

台場跡

「お台場」の名で知られる品川台場は、江戸幕府が黒船来襲にそなえて品川沖に築いた砲台跡です。ペリーが浦賀に来航した翌月の嘉永6年（1853）に着工、一年三ヶ月の間に六基が完成しました。現在は国の史跡に指定された第三、第六台場だけが残っています。

ご自由にお取りいただけるよう、多数部の回覧をお願いいたします。

地域で活躍するクラブやサークルの紹介記事を募集しています！